

答辞

冬の厳しい寒さも和らぎ、桜の便りが待ち遠しい季節となりました。本日は多くの皆様のご臨席の下、このような卒業式を挙行していただきますことを卒業生一同心より御礼申し上げます。

三年前、この体育館で伝統ある校歌とともに入場し、迎えた入学式。高崎女子高校に合格できた喜びと誇りを胸に、目の前で輝く金屏風の迫力に圧倒されたことを思い出します。入学式の日から明るい雰囲気にも包まれた教室では、少し感じていた不安も一気に期待へと変わっていききました。一年次には、卒業式以外の行事を例年通りの形で開催することができました。どの部活動も個性豊かな発表で面白かった生徒会オリエンテーション。わからないことだらけだったけれど青春を満喫した椎樹祭、体育館のギャラリーやグラウンドいっぱいに広がって応援・観戦した球技大会やスポーツの日、みんなでバスに乗って行った大学企業訪問。新型コロナウイルスの影響を受けて、このような当たり前だった学校生活が、今では夢のような話だと感じられてしまうなんて、誰も想像できなかったことでしょう。一年生の三月から休校になり、二年に進級しても、新しいクラスメートの全員には会うことができず、部活動も思うようにできなくなりました。また、二年生としてこれから何をすべきなのか、今やっていることが合っているのかわからなくて、色々な不安や悩みを抱えました。そして三年生になり、私たちが今まで励んできた様々なことに終止符を打ち、自分の将来について深く考え、実行してきました。こうして振り返ると、高崎女子高校での時間が瞬く間に過ぎていってしまったことをしみじみと感じます。その中で私たちは、先生方のご指導を受け、大いなる知恵を得て、貴重な経験をしてきました。そして何より、かけがえのない多くの友人を得ることができました。その友人たちと共によく遊び、勉強、部活動など様々なことに励んだ時間はとても楽しく、有意義で、この上なく幸せなものでした。今、卒業式を無事に迎えることができ、喜びを感じると同時に、少しの寂しさも感じています。

入学当初は聞き慣れなかった「高女自治」という言葉や「認め合う、高め合う、全力投球」というフレーズは、今では一人一人が誇れる高女の魅力、そして、私たちの魅力となつていきます。高女生は勉強とともに部活動や課外活動にも力を注いでいて、忙しい毎日でも過ごしています。真剣に励んでいるからこそ悩みや不安が多い高女生ですが、互いに気持ちを共有し励まし合い、切磋琢磨し合う仲間の姿を見て、たくさんの方の勇気や活力をもらいました。高女生が放つ個性と向上心があつてつくり出される高女生活、これこそが高女自治です。一人一人が自分の個性に誇りをもち、互いに認め、高め合える高女は変わらずここにあり続けることでしょう。

在校生の皆さん、今までありがとうございました。みなさんと過ごした日々も私たちにとってはかけがえのない思い出となっております。これから明るく、伝統ある高崎女子高校を守ってほしいと思います。また、みなさんは一人ではなく、伝統ある高崎女子高生方、友人などのたくさんの方々がみなさんを見守ってくださいています。そのことを忘れず感謝して、これからたくさんの方に応援していただけるような高女生であってほしいと思います。

私たちはこれからそれぞれの道へ歩き出します。その道では楽しいこと嬉しいこと、悲しいこと辛いこと、本当にたくさんの方が私たちを待っています。この高崎女子高校で過ごしてきた中での素晴らしい人たちとの出会い、貴重な経験はどんなときでも私たちを強くしてくれるものだと思います。私たちは、歩んできたこの三年間の思い出、学び、誇りを人生の糧とし、これから起こる新しい人との出会いや幸せな出来事を楽しみに、一歩一歩自分の足で歩いていきます。

最後になりましたが、見えないところで私たちを支えてくださった職員の皆さん、ともに喜び、悩み、どんなときも私たちを励ましてくれた先生方、本当にありがとうございました。また、いつも私たちを大切にし、温かく寄り添ってくれた高女生のみんな。皆さんがいて、本日も、こうして卒業の日を迎えることができました。卒業生を代表して、私たちを支え、導いてくれた全ての方に心より御礼申し上げます。校長先生をはじめ諸先生方、同窓会の方々に感謝申し上げますとともに、高崎女子高校のさらなる発展と在校生一人一人の活躍を祈念いたしまして答辞とさせていただきます。

令和四年三月一日

卒業生代表 萩原 美紗子